

官

報

號 外

明治三十二年二月二十六日 日曜日

印 刷 局

○第十三回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十四號

明治三十二年二月二十五日(土曜日)午前十時十四分開議

議事日程 第二十四號 明治三十二年二月二十五日(土曜日)

午前十時開議

第一 教育基金特別會計法案(政府提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

軍艦水雷艇補充基金特別會計法案(政府提出)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 災害準備基金特別會計法案(政府提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

衆議院議員選舉法改正法律案(政府提出)

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

追加案(特追第三號)(政府提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要

スル件(追第二號)(政府提出)

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要

○議長(公爵近衛篤麿君) 是ヨリ報告ヲ致シマス
 (淺田書記官朗讀)

昨二十四日本院ニ於テ可決シタル政府提出日本銀行納稅ニ關スル法律案ハ
 即チ内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知シタ
 同日本院ニ於テ可決シタル政府提出外國艦船乘組員ノ逮捕留置ニ關スル援

助法案ハ即日衆議院ニ送付シタリ
 同日本院ニ於テ可決シタル左ノ建議書ハ即日政府ニ呈出シタリ
 第五回内國勸業博覽會ニ於テ水產部ヲ萬國博覽會ノ組織トスルノ建議書
 鮭鱈養殖事業ニ關スル建議書
 同日左ノ政府提出案ヲ受領シタリ
 教育基金特別會計法案
 災害準備基金特別會計法案
 軍艦水雷艇補充基金特別會計法案
 同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ
 臺灣總督府法院ノ判決ニ對スル大審院ノ裁判權ニ關スル法律案
 登錄稅法中改正法律案
 同日衆議院提出國事犯罪者家祿賞典祿處分法案ヲ受領シタリ
 同日衆議院ヨリ政府提出明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)竝
 明治三十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第四號)ハ撤回セラレタ
 ル旨ノ通牒ヲ受領シタリ
 同日衆議院ヨリ本院提出宅地組換法案ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領シ
 タリ
 同日衆議院提出宅地組換法案ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領シタリ
 同日金子堅太郎君、久保田讓君、富井政章君、田中源太郎君ヨリ百三十二名
 ノ賛成ヲ以テ美術工藝學校ヲ京都ニ設立スルノ建議案ヲ發議セラレタリ
 同日男爵尾崎三良君、渡邊洪基君、男爵船越篤君、高島信茂君、男爵辻健介君
 ヨリ七十七名ノ賛成ヲ以テ廣島縣下糸崎港ヲ輸出入港ト指定スルノ建議案
 ノ發議セラレタリ
 各委員長副委員長左ノ適當選セラレタリ
 水先法案特別委員會
 委員長 磯邊 包義君 副委員長 子爵内藤 政共君
 種牡馬検査法中改正法律案特別委員會
 委員長 子爵長岡 護美君 副委員長 子爵相貞 賴紹君
 長野縣下郡廢置及郡界變更法律案外一件特別委員會
 委員長 伯爵德川 達孝君 副委員長 男爵渡邊 澄君
 府縣制改正法律案外一件特別委員會
 委員長 侯爵細川 護成君 副委員長 伯爵萬里小路通房君
 肥料取締法案特別委員會
 委員長 子爵鳥居 忠文君 副委員長 田中 芳男君
 小學校教育費國庫補助法案特別委員會
 委員長 久保田 讓君 副委員長 辻 新次君
 ○公爵徳川家達君 是ヨリ非訟事件手續法中改正法律案ノ特別委員會ヲ開キ
 タウゴザイマスガ、宜シケレバ退席ヲ致シタウゴザイマス
 議長(公爵近衛篤麿君) 宜シウゴザイマス、是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、
 第一 教育基金特別會計法案(政府提出) 第一讀會

殘額ガアリマスカラソレヲ基礎トシテ設タルト云フコトニ致シマシタ、ソレ故ニ災害準備基金ハ之ヲ利殖バカリデ支辨シ得ル場合ハ少シモ差支ハゴザイマセヌガ萬一非常ノ災害デ元金ニ喰込ム場合ニハソレハ一般ノ會計カラ次ノ年度ニ於テ補填シナケレバナラヌ、ソレカラ軍艦水雷艇補充基金ノコトデゴザイマスガ是モ帝國海軍ト云フモノ、勢力ト云フモノハ戰後經營ニ於キマシテ初テ稍々强大ノ域ニ至リマシタ次第デ其當時ニ於キマシテ既ニ募集方法ニ附キマシテ議論ガアツタコトニアリマスガ未だ完備ニモ致サヌニ其募集方法ヲ設ケルト云フコトニモ及ブマイ依ッテ完備ノ上ニテ其募集ノ方法ヲ設ケルト云フコトガ然ルベキデアラウト云フコトデゴザイマシテ即チ此我海軍ハ明治三十六年度ヲ以チマシテ其重モナル勢力ト云フモノハ整頓致スコトニナツテ居リマスカラ三十七年度カラ製造費ノ代價償却ノ方法ト云フモノヲ立テサウシテ船ノ難破致シマシタカ老朽致シマシタコトニハ之ヲ募集シ得ルノ方法ヲ設ケルガ必要デアル、而シテ此財源ノ幾分ト云フモノヲ尙ホ補足スルガタメニ此基金ト云フモノヲ置キマシテ基金ノ利息金ヲ以テ尙ホ幾分ヲ補充スル道ヲ取ルト云フノ甚ダ財政上ニ於テ便宜ヲ得ル譯デアルトスウ考ヘマス次第デアリマス、併ナガラ此軍艦水雷艇補充基金ハ前申シマス通ニ大抵悉ク基金ヲ以テ積ンデ置ク計畫デゴザイマスカラシテ是カラ生ジマス利息金ハ教育基金ヤ災害準備金ト云フ風ニ利殖スルコトハ出來ヌ、ドウシテモ金貨デ積ンデ置クト云フコトニナリマスルト利殖スル方法ニ於キマシテ極テ利子ヲ生ズル高ガ少イコトニナリマス、右ノ次第デゴザイマスカラ此三基金法案ハ專ラコトデアリマスガ今全國小學校ノ教員ハ二万五千人モ缺乏ガアリマス、之ヲ

○子爵長岡護美君 本員ハ質問ガゴザイマスガ此清國償金ノ一部ヲ教育基金ニ當テラレルコトハ本員等多年熱心ノ希望デアリマシテ最モ賀スベキコトデアリマスガ今内閣員ノ御辯明中ニ重モニ此金額ヲ教員ノ獎勵ニ當テルト云フコトデアリマスガ今全國小學校ノ教員ハ二万五千人モ缺乏ガアリマス、之ヲ補充スル方ニ當テラレルノデアリマスカラ

○政府委員(阪谷芳郎君) 其コトニ附キマシテハ尙本文部省ノ政府委員ト代リ合ヒマシテ御答辯致シマスデゴザイマセウガ唯今文部省ト本員ト協議致シマシタ所デハ是カラ生ジマス利子ト云フモノハ年々凡ソ五十万圓デゴザイマス、其五十万圓ヲ以チマシテ全國ノ教員ノ勉勵衆ニ超エテ功績顯著ナル者ニ年々幾何ノ獎勵金ヲ與ヘルト云フコトニシタナラバ其教員ト云フモノ、人物ヲ獎勵スル上ニ於テモ大變功能ガアリ又小學校一般ノ獎勵ニナルコトニアラウ、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、其委細ノ計畫ガ尙ホ御承知ニナリタイト云フコトデゴザイマスレバ文部省ノ當局者モ出テ居ラマスカラ代リマシテ御辯明ヲ致シマス

○久保田讓君 私モ教育基金特別會計法ニ附イテ二三ノ質問ガアリマスガ其質問ニ先チマシテ一言政府ニ向シテ謝意ヲ表シテ置カウト思ヒマス、抑々本案ハ當議院ノ建議ヲ政府デ採納ヲセラレマシテサウシテ本日茲ニ提出ニナッタコトデアリマスカラ我ミハ大ニ満足ヲ致スコトデアルノデサウシテ此事柄ハ實ニ國家教育ノタメニ無量ナル洪益デアツテ永久紀念ニ存シテ朽チザルコトアルノデゴザイマス、サウシテ此コトニ附イテ教育社會ハ勿論全國民舉ゲテ是マデ熱望致シテ一日千秋ノ思ヲ爲シテ渴望シテ居ラマスコトデアリマ

ス、今日圖ラズモ此案ヲ議スルニ至リマシタコトハ現政府が教育ニ重キヲ置カレル一證トシテ見ルベキコトデアラウト思フノデアリマス、殊ニ文部大臣樺山伯爵ハ就任以來本件ニ附キマシテハ非常ナ熱心ヲ以テ今日マデ盡力ヲ致テ居リマスカラ三十七年度カラ三十九年度ニ於キマシテ既ニ募集方法ヲ設ケルト云フコトニモ及ブマイ依ッテ完備ノ上ニテ其募集ノ方法ヲ設ケルト云フコトガ然ルベキデアラウト云フコトデゴザイマシテ即チ此我海軍ハ明治三十六年度ヲ以チマシテ其重モナル勢力ト云フモノハ整頓致スコトニナツテ居リマスカラ三十七年度カラ製造費ノ代價償却ノ方法ト云フモノヲ立テサウシテ船ノ難破致シマシタカ老朽致シマシタコトニハ之ヲ募集シ得ルノ方法ヲ設ケルガ必要デアル、而シテ此財源ノ幾分ト云フモノヲ尙ホ補足スルガタメニ此基金ト云フモノヲ置キマシテ基金ノ利息金ヲ以テ尙ホ幾分ヲ補充スル道ヲ取ルト云フノ甚ダ財政上ニ於テ便宜ヲ得ル譯デアルトスウ考ヘマス次第デアリマス、併ナガラ此軍艦水雷艇補充基金ハ前申シマス通ニ大抵悉ク基金ヲ以テ積ンデ置ク計畫デゴザイマスカラシテ是カラ生ジマス利息金ハ教育基金ヤ災害準備金ト云フ風ニ利殖スルコトハ出來ヌ、ドウシテモ金貨デ積ンデ置クト云フコトニナリマスルト利殖スル方法ニ於キマシテ極テ利子ヲ生ズル高ガ少イコトニナリマス、右ノ次第デゴザイマスカラ此三基金法案ハ專ラコトデアリマスガ此第四條ニ據ルト之ヲ使用スルニハ一般歲入ニ入レテ又

ト云フモノ此特別會計中ニハ這入ルコトガ出來ヌヤウニ考ヘラレマスルガ如何デアリマスカ、矢張町村モ積金ヲシタナラバ此基本金ヘ入レルコトガ出來ヌヤウカ、ソレヲ同ヒタイ、ソレカラ尙ホ特別會計法ニ據リマシテ政府ノ或ノニシタイト云フ精神デアリマシタガ此法ニ據レバ町村ヨリ積ム所ノ基本金ト云フモノ此特別會計中ニハ這入ルコトガ出來ヌヤウニ考ヘラレマスルガ如何デアリマスカ、矢張町村モ積金ヲシタナラバ此基本金ヘ入レルコトガ出來ルデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、其コトヲ第一ニ同ヒタイ、ソレカラ第二ニ同ヒタイハ此第三條ニ據ルト教育基金ハ普通教育ノ費用ニ使事ニモ使ハレルヤウニモ見エル、是ハドウ云フ風ニ解釋シテ宣シウゴザイマスカ、是ガ第二ニ同ヒタイ、ソレカラ第三ニ同ヒタイハ第五條ニ教育基金ハ大藏省預金ニ寄託シテ基金ニ編入スルト爲シテ居ルコトハ分シテ居リマスガ若シ基金ニ残餘ガアツタ、殘金ヲ生ジタトキニハドウ云フコトニナリマスカ、又再ヒ此基金ニ入レテ矢張積立デルト云フコトガ出來ルデアリマセウト云フモノガナニ、ソレデ何時カラ施行セラレルデアリマセウカ、如何テアリマセウカ、ソレヲ同ヒタイ、ソレカラ今一箇條ハ此施行期限ノ法律ト同様ニ直チニ施行ヲサレルモノノデ本年度ニニ附イテノ豫算ヲ提出サレルモノデゴザイマセウカ、如何デアリマセウカ、是ダケノ箇條ヲドウカ伺ヒタイ

○政府委員(阪谷芳郎君) 御答致シマス、町村ノ積金ト云フモノヲ入レテモ宣イカト云フ御尋デアリマスガは償金ノ處分ニ附キマシテ出マシタ法案デゴザイマスカラ其コトハ規定ハ致シテゴザイマセヌガ併ナガラ町村カラ別ニ云フコトデゴザイマスレバ文部省ノ當局者モ出テ居ラマスカラ代リマシテ

レバ政府ニ於キマシテハ此積金ニ入レルト云フコトハ少シモ差支ゴザイマセヌ、ソレカラ又山林其他ノ拂下ノ金ガ餘ツタヤウナ場合ニ入レタラドウカトゴザイマスカラ今日此法案ニ於キマシテ不用ナモノ、アツタコトキニ之ヲ入レテハドウカト云フヤウナ考ハ持シテ居リマセヌ、ソレカラ

〔久保田讓君〕入レルコトガ出來ルカドウカ、若シサウ云フコトガアツ

タラ入レルコトガ出來ルヤ否ヤ、此法律テ入レ得ルヤ如何ト云フコトヲ「ト述フ」

ソレハ豫算デ以テ基金ニ編入スルト云フコトニナリマズレバソレハ出來マス、ソレカラシテ此二條ニ附キマシテ御尋デゴザイマスガ、是ハ御尋ノ普通教育ニ限ルテ使用致シマスノデゴザイマシテ、歲入ヘ繰入レマスル場合ニ普通教育ニ必要ナルモノヨリ餘分ノモノハ入レマセヌ、丁度歲入トシテ入レルノト歲出トシテ市町村ニ渡スノト同ジ金額ニナリマス、ソレデ是ハ即チ此一般ノ會計ノ整理ノ上ニ於キマシテ一般ノ會計ヲ通ジテ支出致シマスダケノコトデゴザイマスルカラ、教育基金カラ餘計繰入シマシテ其餘計ニナツタモノヲ外ヘ使フト云フコトハ決シテアリマセヌ、ソレカラシテ此殘餘ノ生ジタキニハドウスルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、其殘餘ノ生ジマシタ場合ニハ無論基金ニ入レマシテ基金ト云フモノヲ増殖致シマス考デゴザイマス、ソレカラ此施行期限ノコトハ此法律ガ發布ニナリマスレバ直グニ施行致シマス考デゴザイマシテ、此豫算ハ此法律ガ通過致シマシタナラバ續イテ提出致ス積ニナツテ居リマス

○子爵曾我祐準君 先刻御説明モアリマシタシ且ツ茲ニ參照トシテ……○議長(公爵近衛篤曆君) 曾我子爵ノハ教育基金ノ御質問デゴザイマスカ

○子爵曾我祐準君 教育基金ノコトバカリデハアリマセヌ、此參照ノ中ニハ總テヲ含ンテ居ルコト、思ヒマス、教育基金モ此中ニ在リマスガ便利デアラウト思ヒマスガ……○子爵曾我祐準君 本員ガ御尋シマスルノハ參照ニ附イテノ大體ノ御尋デゴザイマス、即チ政府委員ガ説明サレタ所ニ附イテアリマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 參照ト云フモノガコニ附イテ居リマス、ソレニ非常準備基金トシテ積立ツル云々ト云フコトガアリマス、此先キニ其處分ノ方法ニ附イテ反覆熟考云々トナツテ居リマス、此處ハ先刻御説明ガアリマシタガ矢張分リマセヌノデアリマスカラ此説明ヲ再び請ヒタイト思ヒマス、非常準備基金トシテ一面ニ取ツテ置イテソレヲ又基金トスル、是ハ同ジ金デアリマス、サウスルト非常準備基金ト云フ非常準備ノ名稱ノ如キハ之ヲ外ニ使フトキニハ此金ハドウ云フコトニナリマスカ、此處ガ分リ兼ネマス、同ジ金ニ二ツノ名ガアルヤウニ見エマスルカラ其説明ヲ煩ハシタイ

○政府委員(阪谷芳郎君) 御答ヲ致シマス、政府ノ當初ノ考ハ單ニ非常準備トシテ金貨若クハ銀貨ヲ以テ積立テ、置クト云フ考テゴザイマシタ、然ル處ガ段々貴衆兩院ノ御建議ガアッテ元金ヲ消費セマヤウニシテ其利子ダケヲ運用スルト云フ方法ヲ取ツタ方ガ宜カラウト云フコトカラ致シテ此教育基金ト灾害準備金ト云フモノハ專ラ公債證書ヲ以テ保有シテ其利足ヲ運用ニ充テル元々災害準備ハ大キナ災害ノアッタキニハ元金ニ喰入ルガ其時ニハ次年度ノ分デ補ヒマス、ソレカラ軍艦水雷艇ノ補充ハ是ハ金貨デ積シテ置キマシテ少々デモ利子ガアッタラバニ充テル、而シテ事ノアッタキニハ其金銀貨アリマスルモノハ直チニ之ヲ使用スルコトガ出來、又公債證書ハ賣却シテ

使用スルコトガ出來ルト云フ見込デアリマス、此コトハ日清戰爭ノ際ニ於キマシテモ政府ニ於キマシテ種々ノ基金ガゴザイマシタ其基金ト云フモノハソレ法律ニ依ツテ平日ニ於テハ使フコトガ出來ヌモノデゴザイマスカラ、

國家危急ノ場合デゴザイマシタカラシテ憲法ノ明條ニ依リマシテ財政上緊急ノ處分ニ出テ其基金ト云フモノヲ一時軍用ノ方へ回ハシテ使ヒマシタコトガゴザイマス、即チ元金ヲ消費セズニ置ケバ萬一事ガアッタトキハ其用ヲ達スルコトが出來ヤウト云フ斯ウ云フ考デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 分リマシタガ、然ラバ若シ非常ノ節ニ五千万圓非常用ニ使ヘバ跡デ填補シナケレバナラヌ譯デアリマスナ

○政府委員(阪谷芳郎君) ソレハサウ云フコトニナリマスデゴザイマス

○伊澤修二君 私ハ質問デハアリマセヌ、チヨツト此場合ニ一言述ベタイコトガゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 何デスカ、御質問デハナイ御説デアリマスカ

○伊澤修二君 質問ニ先立チマシテ少シク申シタイコトガゴザイマス、此清國償金ノ一部ヲ教育基金ニ充テルト云フコトニ附キマシテハ先刻久保田君カラ述ベラレマシタ如ク曩ニ當院ヨリモ建議案トシテ出マシタ其後今日ニ至ルマデワレコソ全國ノ輿論デゴザイマス、凡ソ全國ノ各市町村ノ有力者何千人ト云フ人ガ日々ノ如ク當局ノ大臣ニ向ツテ建白書ヲ出シテ居ルヤニ承ツテ居リマス、而シテ又教育社會ニ於テモ大變希望デアリマスルコトナリ、又一方ニハ此征清ノ役ノ此功績ヲ文武兩途ニ分ツニ附キマシテハ是ハ是非斯クナクテハナラヌコト、本員ハモ考ヘテ居リマシタ所ガ、政府ニ於カレマシテモ此度ハ或ハ此教育基金ト云フ名ガ單ニ教育基金トアルガ故ニ他ノ一般ノ歲入ト混ゼラレバセヌカト云フ疑ガアリマシタガ其疑既ニ久保田君ノ質問デ解ケタノデアリマス、デ此以上ハドウゾ此別ニ論ズルコトモナカラウト思ヒマスカラ、速ニ次ノ日程ニ移ランコトヲ希望致シマス

○子爵長岡護美君 文部省次官ニドウカ演壇ニ出ラレンコトヲ希望致シマス、先刻阪谷委員カラ文部省ノ主任ノ方ニ問フタラ宣カラウト云フコトデアリマシタ、ドウカ本員ガ質問致シタ點ニ附イテ御説明ヲ願ヒマス

○子爵由利公正君 本員ハ此印紙稅法案ノ協議會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 宜シウゴザイマス

○子爵由利公正君 ソレデヤドウゾ……

○子爵小笠原壽長君 本員モドウゾ……

○磯邊包義君 本員ハ……

○議長(公爵近衛篤曆君) 唯今長岡子爵ノ質問ガアリ掛シテ居リマスカラ暫ク御待ヲ……サウシテ磯邊君ノハ教育基金ニ附イテノ御質問デゴザイマス

○磯邊包義君 ソレナラサウ致シマセウ

(政府委員澤柳政太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(澤柳政太郎君) 此普通教育費ニ用ヒルト云フコトニ附イテ、詳細ノコトニ附イテ御質問ガゴザイマシタガ、其コトハ目下調査中ニ在リマスル

ガ、先づ大體ノ目的ハ小學校ノ教員ノ獎勵費ニ使用シタイト云フコトニナッ

テ居リマスカラ左様御承知ヲ願ヒタウゴザイマス

○子爵長岡護美君 サウスレバ教員ノ缺乏ノ多イノヲ充スニハ……

○政府委員(澤柳政太郎君) 直チニ教員ノ不足ノ補充ノタメニ之ヲ充テルノデハアリマセヌガ教育ノ補充ト云フコトハ教員ヲ優待ヲシテ長ク教育界ニ小学校教員ノ足ヲ止メルト云フコトガ實際ニ於テ補充ニナリマスカラ間接ニハ補充ノコトニ關係ガアラウト存ジマスル

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御質問ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、此委員ハ昨日選定シマシタ小學教育費ニ關シタル法案トアレト同一ノ委員ニ付託シテハ如何デアリマスカ、ソレトモ他ニ御異議ガアレバ……

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 軍艦水雷艇補充基金特別會計法案、政府提出、第一讀會

(淺田書記官朗讀)

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十二年二月二十四日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

大藏大臣伯爵松方正義

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

軍艦水雷艇補充基金特別會計法

第一條 軍艦水雷艇補充基金ヲ置キ其ノ歲入歲出ハ一般會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

第二條 償金特別會計資金ノ内參千萬圓ハ軍艦水雷艇補充基金ニ組入ルヘ

第三條 明治三十七年度以後各前年度末日ニ於テ艦籍ニ現在スル艦艇製造費ノ左ニ掲タル遞減歩率ニ相當スル金額ヲ毎年度一般會計ヨリ軍艦水雷艇補充基金ニ組入ルヘシ

百分ノ三、九

無防護軍艦

水雷艇

百分ノ五、四

無防護軍艦

水雷艇

百分ノ六、五

無防護軍艦

水雷艇

百分ノ五、四

無防護軍艦

水雷艇

第四條 軍艦水雷艇補充基金ニ前條ノ組入ヲ爲スニ當リ艦艇製造費ノ左ニ掲タル遞減年期ヲ過キタル艦艇ニ對シテハ翌年度ヨリ其ノ組入ヲ停止シ爾後艦艇ノ艦籍ヨリ除カレタルモノアルトキ其ノ遞減殘額ニ相當スル金額ヲ翌年度ニ於テ一般會計ヨリ基金ニ組入ルヘシ

(十八箇年)
(二十五箇年)

○政府委員(阪谷芳郎君) 大藏省預金ニ寄託シ其ノ利子ハ之ヲ基金ニ編入スヘシ

○第六條 軍艦水雷艇補充基金ハ軍艦水雷艇補充費ノ財源ニ充ツ但シ元資金參千萬圓ハ之ヲ費消スルコトヲ得ス

第七條 政府ハ每年軍艦水雷艇補充基金特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ

歲入歲出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

○磯邊包義君 此軍艦水雷艇補充法案ニ附キマシテハ私ハ最モ是ハ必要ナコトハ存ジマス、初メテ我海軍ノ擴張以來此補充遂ガ附キマシテハ國家ノ幸福ニアラウト存ジマス、就キマシテハチヨコト此中ニ就キマシテ御尋申シタルノハ此補充基金ニ附キマシテ補充スルノテアラウト其金高ハ凡ソ六百六十餘万圓トゴザイマスガ此六百六十餘万圓ハ

二十七年後ハ年々經常費ノ豫算ヲ以テ之ヲ補充スルコトデアリマセウガ多分豫算ヲ以テ補充致スノデアラウト考ヘマスガ念ノタメ之ヲ御尋ネ申シマス、ソレカラ六百六十餘万圓ハ防護軍艦、無防護軍艦、水雷艇ヲ此二十五箇年十八箇年十五箇年ノ年限ニ割當テマシテ補充スルノテアラウト其金高ハ凡ソ六百六十餘万圓トナカトテ居ルト思ヒマスガ年々之ニ附イテハ増減ガアラウト思ヒ

マス、其邊ノコトハナインデアリマスカ、尤モ三千万圓ノ中デ或ハ一年ハ二千萬圓或ハ一年ハ五百万圓デモ差支ナインデゴザイマスカ、是ハ多分差支ナインデアラウト思ヒマスガ是モ念ノタメ御尋ネ申シマス、先づ是ダケノコトヲ

一應承リマス
(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)
○政府委員(阪谷芳郎君) 御答ヲ致シマスガ此二十七年度以降ハ御尋ノ通一般ノ歲入カラ積金ヲシナケレバナラヌ、ソレカラ年々ノ補充ノ場合デゴザイマスガ是ハ船舶ノ積立法ト云フモノハ極シテ居リマスガ其船ノ難破致シマスト云フコトハ必ズシモ極シテ起ルモノデゴザイマセヌカラ御説ノ通非常ニ難破ノ多イトキハ巨額ノ金ガイル、サウ云フ場合ハ支辨シ切レヌコトガ起ラウト思ヒマス、其時ハ別ニ財源ガアリマセウガ斯ノ如キモノハ矢張保険會社デ保険ノ方法ヲ立テルト同シコトデ略、平均ヲ以テ計算ヲ立テルヨリ外ニ目途ハアリマセヌ、非常ナコトガ起リマシテ非常ナ財源ヲ要シマスルトキハ、ソレハ又別段ニ御協議ヲ致シマス覺悟デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 阪谷君ノソコニ御出ノ序ニ今少シ……私ハ大體ニ於テ此案ハ未タ合點ガ行キマセヌ、三種ニ分ケテアリマスガ、百分ノ幾ツ……ト三種ニ分ケテアリマスガ、是デ軍艦全體ノ補充ニナルノデアリマスカ、又全體補充ノ幾部分ニナルト云フノデアリマスカ、今少シ大體ニ附イテ伺ヒタ、此案ヲ受取リマシタノハ唯今デアリマシテ未ダ熟讀スル暇モナイ位デアリマスガ、説明ヲ煩ハシマス

○政府委員(阪谷芳郎君) ソレハ積金法ト云フモノガ、明治ノ初、海軍ガ在テ以來積金ガアルト大變都合ガ宜イノデアリマスガ、是マデノ海軍ト云フモノハ殘念ナガラ甚ダ微弱ナモノデアラツテ未ダ擴張ノ中途ニ在ツタモノデアリマスガ、近年ニ至ツテ稍々完備致スニ附イテニ十八年一度ニ於テ勢力ガ稍々備ツタヲ起點シテ此積金法ヲ始メヤウト云フノデアリマスカラ既往ノ事ニ附イテハ後レタモノガアリマス、併ナガラ此計算法デ段キ積金ヲシテ參リマストシイ計算等ノコトニ附キマシテハ委員會デゴザイマセヌト、コ、デ、デハチヨウト申上兼ネマス、細イ計算書ガゴザイマスカラ……

○磯邊包義君 唯今政府委員ノ御答ガアリマシタノアリマス、併ナガラ此計算書ガゴザイマスカラ……
政府委員ノ軍艦等ノ沈没シタル場合トカ云フコトノ御答ガアリマシタガ本員ハ此案ヲ受取リマシテ十分ニ未ダ熟讀ラシマセヌカラ分リマセヌカ知リマセヌガ今政府委員ノ御答ニ依リマスト此補充ト云フモノノ六百六十萬圓ト云フモ

ノハ防護軍艦二十五箇年、無防護軍艦十八箇年、水雷艇十五箇年、此年限ト申シマスルモノハ此年限ガ經チマスレバ軍艦ハ既ニ今日ノ運用ヲ缺キマスル、ソコデ其補充ヲスルタメデアラウト私ハ考ヘマスルガ左様デハナインオデアリマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 其積デゴザイマス
○磯邊包義君 今ノ沈没等ノコトハ別段デアラウト思ヒマスガソレハ矢張別デアリマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 其コトヲ御答シタ積リデアリマスガ、サウ云フ風ナ平均法ヲ計算ヲ立シテアリマスルカラ又難破等ノアツタトキモ矢張是行ケルヤウニナツテ居ルノデゴザイマス、ケレドモ非常ニ艦艇ノ缺ケタモノガ生ジタトキニ一時ニ補ハナケレバナラスト云フトキハ是行ケヌ場合モアリマス、通常ノ場合ニ於キマシテハ是デ補充ガ出來テ居リマスル計算デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○男爵中川興長君 本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ御選定アランコトヲ希望シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ガナクバ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ……災害準備基金特別會計法案、政府提出、第一讀會

(淺田書記官朗讀)

右 災害準備基金特別會計法案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十二年二月二十四日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義

衆議院議長片岡健吉

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

灾害準備基金特別會計法
設置ス

第二條 灾害準備基金特別會計資金ノ内千萬圓ハ灾害準備基金ニ組入ルヘシ

第三條 灾害準備基金ハ左ノ目的ニ使用ス
一 非常灾害ノ爲租稅特免トナリタル場合ニ於テ生スル歳入缺損ノ補充各府縣灾害土木費ノ補助ニ要スル財源ノ補充

前項土木費補助ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 灾害準備基金ハ大藏省預金ニ寄託シ其ノ利子ハ之ヲ基金ニ編入スヘシ

第五條 灾害準備基金千萬圓以内ニ減少シタルトキハ一般會計ヨリ其ノ缺額ヲ補填スヘシ

第六條 政府ハ毎年灾害準備基金特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歲出

出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘン

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○子爵谷千城君 異議ナシ
○男爵中川興長君 本案ノ委員モ前ノ軍艦水雷艇補充特別會計法案ト同一ノ委員ニ付託サレンコトヲ……

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○子爵高野宗順君 是ハ餘程違ヒマスルヤウニ考ヘマスカラ別ノ委員ニ付託シマセヌト……此案ハ一番事實ガ遠イコトデアラウト思ヒマスカラ此案タケハ矢張九名ニシテ選定ハ議長ニ……

○子爵内田正學君 高野子爵ニ贊成
(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 全體政府ノ方カラ申シマスルト三基金法案ハ成ルベク同一委員ニ付託ニナリタイト思ヒマス、前ノ教育基金ノ方ハ別ノ委員ニナリマシタガ成ルベク同一委員ニ付託ニナリマセヌトは償金ノ殘額ノ處分ノコトカラ起シテ居リマスカラ説明上ニ於キマシテ同一委員ニ付託ニナリマス方ヲ政府ニ於テハ大變便宜ト致シマス、併シ是ハ強テ申上ゲマスノデハゴザイマセヌ、一應政府ノ希望ヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 中川男爵ノ同一委員ト云フノト高野子爵ノ別ノ委員ニシテ議長ニ委託スルト云フノト二說アリマス、先づ中川男爵ノ説カラ決ヲ採リマス第三ノ基金法案ト同一委員ト云フニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス、衆議院議員選舉法改正法律起立者多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス、衆議院議員選舉法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(淺田書記官朗讀)

衆議院議員選舉法改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年二月二十三日

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

貴族院議長公爵近衛篤磨殿
(衆議院議員選舉法改正法律案(政府提出)ハ二月二十四日官報號外)

第二條 市町村ヲ以テ投票區トス

第三條 市町村長ハ其ノ市町村ノ投票管理者トナリ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ區長其ノ區ノ投票管理者トナリ投票ニ

第五條 郡市長ハ其ノ郡市ノ投票管理者トナリ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ區長其ノ區ノ投票管理者トナリ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第九條 左ノ要件ヲ具備スル者ハ選舉權ヲ有ス

一 帝國臣民タル男子ニシテ成年ニ達シタル者
 二 選舉人名簿調製ノ期日前満一年以上其ノ選舉区内ニ住所ヲ有シ仍引
 續キ有スル者
 三 選舉人名簿調製ノ期日前満一年以上地租五圓以上又ハ満二年以上地
 租以外ノ直接國稅五圓以上若ハ地租ト其ノ他ノ直接國稅トヲ通シテ
 五圓以上ヲ納メ仍引續キ納ムル者
 家督相續ニ由リ財產ヲ取得シタル者ハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル
 納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス
 此ノ法律ニ於ケル直接國稅ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第十二條 左ニ掲タル者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

第一 癲癆白痴ノ者
 禁治產者、準禁治產者
 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若ハ破產ノ
 宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ルマテ
 ノ者

四 剝奪公權者及停止公權者

第十七條 官吏ハ勅令ニ規定アル者ヲ除ク外議員ト相兼ヌルコトヲ得
 第二十九條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ
 第三十條 投票所ハ市區役所町村役場又ハ投票管理者ノ指定シタル場所
 第三十四條 選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經
 ニ之ヲ設ク
 第三十一條 投票管理者ハ投票ノ期日ヨリ少クトモ五日前ニ投票所ヲ其ノ
 投票區内ニ告示スヘシ
 第三十六條 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人ノ氏名ヲ記載
 シ次ニ自己ノ氏名ヲ記載シテ捺印シ投函スヘン
 選舉人ニシテ自ラ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立ツルトキハ投票管
 理者ハ吏員ヲシテ代書セシメ之ヲ本人ニ讀聞カセ捺印投票セシメ其ノ由
 ヲ投票錄ニ記載スヘシ
 第三十八條 選舉人名簿ニ記載セラレタルモ選舉權ナキ者ハ投票スルコト
 分ノ二ヲ記載シテ投票スヘシ若三分シテ端數ヲ生シタルトキハ仍一名ヲ
 加ヘテ記載スヘシ
 第四十九條 開票所ハ郡市區役所及ハ開票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ
 設ク
 第五十一条 開票管理者ハ開票所ニ參集シタル投票立會人ノ中ヨリ三名以
 上七名以下ノ開票立會人ヲ選任シ開票ニ立會ハシムヘシ但シ市區ニ於テ
 フ得ス
 第五十二条 開票管理者ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス
 第五十三条 開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス
 第五十四条 開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス
 第五十五条 開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス
 第五十六条 開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス
 第五十七条 開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス
 第五十八条 開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス
 第五十九條 開票所ハ郡市區役所ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日市區ニ
 於テハ投票ノ翌日開票立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人
 ノ總數トヲ計算スヘシ若投票ノ總數ト投票人ノ總數トニ差異ヲ生シタル
 ノ其由ヲ開票錄ニ記載スヘシ

第五十六條 投票ニ記載シタル被選舉人ノ數其ノ投票スヘキ數ニ過ギ又ハ
 不足アルモ其ノ投票ヲ無效トセス其ノ定數ニ過タルモノハ末尾ニ記載シ
 大者ヲ順次ニ棄却スヘシ
 左ノ投票ハ之ヲ無效トス但シ連名投票ニシテ第二第三ニ該當スルモノハ
 其ノ部分ノミヲ無效トス
 一 成規ノ用紙ヲ用井サルモノ
 二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
 三 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身
 分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
 四 選舉人被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身
 分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
 五 選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ又ハ選舉人ノ捺印ナキモノ
 六 選舉人名簿ニ記載ナキ者ノ投票及選舉權ナキ者ノ投票但シ第三十七
 條ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス
 第六十八條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉
 區内ノ議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得
 タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス
 前項ノ當選人ニシテ當選證書付與前ニ於テ其ノ當選ヲ辭シタルトキ又ハ
 死亡シタルトキ又ハ被選舉權ヲ有セタルトキ又ハ此ノ法律ニ依リ處罰セ
 ラレタル結果當選無效トナリタルトキ若ハ投票無效トナリタル爲當選人
 ニ異動ヲ生スルトキハ前項得票者ニシテ當選人トナラサリシ者ノ中ニ就
 キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス
 第一項ノ得票者ナキ爲選舉スヘキ議員ノ員數ヲ得サルニ由リ選舉ヲ行フ
 場合ニ於テハ其ノ但書ニ拘ラス有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人
 トス
 本條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
 本條ニ依リ當選人ヲ定メ又ハ補充ヲ爲スニ當リ得票ノ數相同キトキハ年
 長者ヲ取り同年月ナルトキハ抽籤シテ其ノ順位ヲ定ム
 第七十四條 當選訴訟ノ判決ニ依リ當選無效トナリタルトキ又ハ當選證書
 ヲ付與シタル後此ノ法律ニ依リ處罰セラレ若ハ投票無效トナリタル結果
 當選無效トナリタルトキハ地方長官ハ其ノ當選證書ヲ取消スヘシ
 第七十九條 原告人ハ訴狀ヲ提出スルト同時ニ保證金トシテ百圓又ハ之ニ
 相當スル額面ノ公債證書ヲ供託スヘシ
 第八十二条 選舉ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ一月以
 上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
 選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢、物品、手形其ノ他ノ利益若ハ公私ノ
 職務ヲ選舉人又ハ選舉運動者ニ供與シ又ハ供與セんコトヲ申込ミタ
 ル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾センコトヲ周旋勸誘シタル者竝供與ヲ
 受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者
 二 選舉ニ關シ酒食遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接
 待シ又ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ選舉會場、開票所若ハ投票所ニ
 往復スル爲船車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者又ハ旅費若
 ハ休泊料ノ類ヲ代辦シ及其ノ代辦ヲ受ケタル者竝此等ノ約束ヲ爲シ
 又ハ約束ヲ受ケタル者
 三 選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等
 ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ

誘導シタル者及其ノ誘導ニ應シタル者
前項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル物件ハ之ヲ沒收シ既ニ費用シタルモノ
ハ其ノ價ヲ追徴ス
第九十四條 當選人此ノ法律ニ依リ處罰セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無効
トス

此ノ法律ニ依リ刑ニ處セラレタル者ノ投票ハ其ノ處罰ノ投票當日後ニ係
ルモノト雖之ヲ無效トス但シ投票當日後ノ行爲ニ係リ處罰ヲ受ケタル者
ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第九十七條 此ノ法律ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス但シ沖繩縣ニ於テハ勅
令ヲ以テ施行ノ期日ヲ定ム
第一百五條 此ノ法律中北海道、沖繩縣ニ適用スルヲ得サル事項ニ關シテハ
勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得
第一百六條 此ノ法律施行ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

別表東京府

伊豆七島トモ

群崎	新	長	兵	神	大	京	東	京
郡前	馬玉	佐郡	新潟	壹五	對郡	長崎	郡姬	神庫
橋	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
部市	渡部市	岐島馬部市	部市市	部市	部市市	部市	伊豆七島トモ	

八一	十一十一	一一一六一	十一二	七二	七一八	六三	六十	
二六			四					
八八	八八八八	八八八八八	八八八	八八	八八八	八八	八八	

福	山	巖	福	宮	長	岐	滋	山	靜	愛	三	堺	茨千
郡福井	郡米山	郡形	郡盛手	郡若島	郡仙城	郡長野	郡岐阜	郡大賀	郡甲梨	郡靜岡	郡名知	郡四津	郡重木
井縣	澤形縣	岡縣	松縣	臺縣	野縣	阜縣	津縣	府縣	岡縣	古縣	都	日	水城葉
部市	部市市	部市	部市	部市	部市	部市	部市	部市	部市	屋縣	縣	縣	戶縣

六一	八一一	七一	十一	八一	十一	九一	七一	五一	十一	十二	九一一	八一	十一	十
二												一	四	

八八	八八八	八八	八八八	八八	八八	八八	八							
----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	---

熊佐大福高愛香徳和山廣岡富石
郡熊本郡佐賀分郡門久福岡郡高知郡松媛郡丸高川郡徳島郡和歌郡赤口郡尾廣島郡岡山郡高富山郡金川
本縣賀縣縣司留岡縣知縣山縣龜松縣島縣山縣關縣道島縣山縣岡山縣澤縣
都市 部市 部市市市 部市 部市市 部市 部市 部市 部市市 部市 部市 部市市 部市
十一 六一 八十一一 一 六一 九一 六一一 六一 六一 九一 十一 一 七一 一 七一
一 三 三 一
八八 八八 八八八八八 八八 八八 八八八 八八 八八 八八 八八八 八八 八八八 八八

連記ノ問題デ衆議院ニ於キマシテハ連記ノ制ヲ取り所謂制限連記ト云フコトニナリマシタ、是ハ到底行ヒ得ラレヌコト、確信致シマスルカラ此コトニ附イテハ同意ヲ表シマセナカタ、又ソレニ隨伴シテ此記名投票ト修正ヲ致シマシタ、是モ政府案ハ無記名デアリマスルガドウシテモ此一縣ヲ通ジテ單記デヤルト云フ如キニ至テハ無記名ト云フコトガ必要ト認メテ居リマス、是モドウシテモ同意ガ出來マセヌ、其他官吏ニ議員トノ兼務ヲ禁ズルノヲ勅令ヲ以テ規定シタモノニ限ルト云フコト、北海道等ニ於テ自今ヨリ選舉ヲ行フ如キ

モ政府ハ同意ハ致シテ居リマセヌ、此段ハ豫メ申述べ置キマス

○兒玉淳一郎君 本員ハ政府委員ニ質問ガアリマス、此選舉ノ規則ニ於キマシテ大體ヲ言ヒマスルト先づ納稅ノ限ガアルノト年齡ノ限ガアルトソレカラノデ、ソレカラ學問ヲ少シシタコトノ程度ヲ加ヘテ之ヲ修正ニナツタトキハ

正二字ヲ書クコトモ出來ヌ者ガ人ニ代書シテ貰ッテ宜シト云フコトガ書イテアリマスガ、凡ソ世ノ中ニ字ノ書ケヌ位詰ラヌモノハアルマイト思ヒマスガソシナコトヲ書イタ、ソレハ御同意デアリマスカ否ヤソレヲツツ聞キタイノデ、ソレカラ學問ヲ少シシタコトノ程度ヲ加ヘテ之ヲ修正ニナツタトキハ

御同意デアルカナイカト云フ此一箇條ヲチヨット御答ヲ……

○政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル

○政府委員（一木喜徳郎君）唯今御質問ノ第一點即チ自記スルコトノ出來ナ

イ者ニ選舉權ヲ與ヘルヤ否ヤト云フ點ニ附キマシテハ政府ハ自カラ文字ヲ書スル位ノ程度ノ智識ハ衆議院ノ選舉ニ於テハ必要デアルト認メ且ツ是位ノ程

度ノ智識ハ望ンデ宜カラウ、望ムガ至當ト認メテ原案ヲ組織シマシタ、然ルニ衆議院ニ於テハ修正ニナリマシタガ政府ハ初ノ意見通無記名投票ノ利ヲ維持

スルト同ジク此點モ矢張修正ニ同意シマセヌノデアリマス、ソレカラ第二點

學識ヲ持テ居ルト云フコトヲ選舉ノ資格ニ加ヘルノハドウカト云フ御尋ニアリマス、御尤ノ御考トハ存シマスガ併シ其規定ノ仕方ニモ依ルコトデアラウト思ヒマスカラ此處ニ於テ直ニ政府ノ意見ヲ御答申上グルコトハ出來マ

セヌ

○兒玉淳一郎君 尚ホ本員ハチヨツト意思ヲ發露シテ置キマスガ本員ガ申シマスノハ尋常中學ヲ卒ヘタ何學校ヲ卒ヘタトカ云フコトデナク多少……歐羅

巴ハドコニ在ルトカ地理位ハ大抵知テ居ル、書物モ憲法ノ字位ハ讀メルトカ議院法ガ讀メルトカ云フ位ノコトヲ云フノデ學士ダノ博士ダノ云フノデハアリマセヌ

○議長（公爵近衛篤齊君） 他ニ御質問ガナケレバ委員ノ選定ニ移リマス

○子爵高野宗順君 本案ノ特別委員ハ十五名ニシテ其選定ハ議長ニ委託シタ

○子爵曾我祐準君 本案ハ申スマデモナイ重大な法案デアリマス、ノミナラズ衆議院デ政府ノ意ニ反シテ修正シタ所モアリマスカラ此調査ハ餘程鄭重ヲ要スルト思ヒマス本院ニ於テハ餘り多數ノ委員ヲ選ブノ慣例ハアリマセヌガ

此議案ニ對シテハ特ニ二十五名ノ委員ヲ定メタイト思ヒマス

○兒玉淳一郎君 曾我君ニ賛成

○○○男爵船越衛門君 曾我君ニ賛成

○○○瀧兵右衛門君 曾我子爵ニ賛成

○○○磯邊包義君 曾我子爵ニ賛成

○○○手田安定君 曾我君ニ賛成

○子爵岡部長職君 唯今十五名說モ出マシテ又二十五名說モ出マシタガ是ハ固ヨリ鄭重ニ鄭重ヲ加ヘテ審議スペキ問題ニ達ヒナイノデアリマスカラ少シ

モ多イ方ニ贊成ヲシタイト思ヒマス、二十五名ニ贊成ヲ致シマス

○議長（公爵近衛篤齊君）高野子爵ノ十五名說ハ贊成ハナカツタヤウデアリマス、曾我子爵ノ選舉ノ仕方ハドウ云フノデアリマスカ

○子爵曾我祐準君 選舉ノ仕方ハ議長ニ御委託申シタイト思ヒマス

○議長（公爵近衛篤齊君）曾我子爵ノ說ニ異議ハアリマセヌカ

（異議ナシト呼ブ者アリ）

○議長（公爵近衛篤齊君）然ラバ其通決シマス、明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案（第三號）竝明治三十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案（特追第三號）政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報告

（子爵谷干城君演壇ニ登ル）

○子爵谷干城君 唯今議事日程ニ載テ居リマス中ノ追加豫算及此豫算外國庫ノ負擔ト爲ルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、是ニ二箇條アリマスルガ總テ取束ネテ御報告ヲ致シマス、此第九號ヲ除クノ外ハ何等ノ議論モゴザイマセズ皆然ルベシト委員會ニ於キマシテハ決議ニナリマシテゴザイマセズ

○子爵谷干城君 唯今議事日程ニ載テ居リマス中ヨリ總理大臣ノ出席ヲ請求セラレマシテサウシテ總理大臣ヨリモ辯明ガゴ

マス、其大要ヲ御報告ヲ致シマス、抑々此鐵道國有ト云フモノハ單ニ鐵道問題ニアラズシテ國家的ノ大問題デアル云フ論カラ致シマシテカラニ委員ノ

鐵道國有調查會ト云フノ費目ニ於キマシテ多少議論ガゴザイマシテゴザイ

マシタガ遞信大臣ヨリ委細ノ辯明ガゴザイマシテゴザイマス、其調查會ト云

フモノハ必要ナル大體ヲ申シマスレバ何分全國ノ鐵道ニ就イテ最モ國家ニ必

要ナルモノヲ買上げヤウト云フコトデアルカラシテハ財政上之ヲ許スヤ否ヤ

ザイマシテゴザイマス、ソレデ總理大臣ノ御辯明ハ誠ニ短簡ナコトデゴザイ

アル、此度ハ國家的ノ大問題デアルカラシテハ別ニ大イナル機關ヲ造ツテ十

分ナル調査ヲスルタメニ必要デアル、ソレデ此ヤウナ處ガ先づ大體ノ趣意デ

アルヤウデゴザイマス、ソレデ最初承ツタ處デハモウ鐵道國有調查ト云フコ

トハ……既ニ鐵道國有ト云フコトハ内閣ニ於テ決定シテアルコトノヤウニ聞

エマシテゴザイマスガ、遞信大臣ノ審ナル辯明ヲ開キマスルト全クサウデハ

ナニ、ソレデ今申シタヤウニ今買ウが必要デアルトカ又ハ是非國有ニセネバ

ナラヌト云フヤウナ論ガ段々アルカラシテハ先づ此鐵道調査會ト云フモノヲ方法ハドウ云フヤウナ組立ニシテ宜イカト云フヤウナ所ヲ調査ヲ遂ゲタ上デソレカラ政府ニ於テハ國有ニスルカセヌカト云フコトヲ決スルノデ、決シタ上デ今日之ヲ設ケタト云フ譯デハナイ、之ヲ調査シタ上デ之ヲ参考トシテ然ル後ニ政府デハ決スルノデアルト云フコトノ遞信大臣ノ説明デアツタト本員ハ考ヘマスル、ソレデ本員等モ此コトニ附イテハ聊カ考ヘルコトガアリマスケレドモ、今申スヤウナ説明デアリマスルカラハ即チ別ニ辯論ヲスルノ必要モ

ナイト存ジマシテカラニ少シク質問ヲ致シタニ止リマス、又他ノ質問者ニ於キマシテモ其以上深ク御質問モゴザイマセズ、先づ是デ宜カラウト云フデ御報告ヲ致シマシテゴザイマス、自然間違ツテ居リマス所ハ他ノ委員諸君ヨリ異議ナク委員會ニ於キマシテハ可決スベキモノト決シマシテゴザイマスカラドウカ其御積デ御討議ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 委員長ニチヨウト御尋致シタウゴザイマス、三號ノ中ニ甲號ト云フ所ガゴザイマス、ソレニ製鐵所創立費ト云フモノガアリマス、其第四項ニ製鐵原料鑛山費ト云フノガアリマスガ是ハドウ云フヤウナモノニアリマシタラウカ、御調査ノ御様子ヲ伺ヒタイ

○子爵谷干城君 是モ委員長ガ少シ申落シマシタガ金子委員ヨリ段々質問モゴザイマシタラウデゴザイマスガ、要スル所原料ヲ即チ皆我國ヨリ生ゼンナラスト云フノデ鐵山ナリ又石炭山ナリ之ヲ今日ヨリ政府ノ手ニ漸々買入レル必要ガアルト、斯ウ云フコトヨリシテ起フタコトデアルサウデゴザイマス、ソレデ初メ金子委員ヨリ多少ノ御論モゴザイマシタ、且ツ又從前金子委員ハ農商務省ノ方ヲ擔當セラレテ其實歷モアルコトデゴザイマシテ、議論ハ喋々ゴザイマシタケレドモ、之ヲ要スルニ金子委員ノ御意見ト本員杯ハ認メマシテ、ソレデ詰リ此鐵山及石炭山ト云フコトヲ買入レテサウシテ製鐵所ヲ造ル即チ基礎ヲ堅クスルト云フ必要ヨリシテ起フタコト、考ヘラマスルノデ、別ニ深イ議論モゴザイマセズ然ルベシト決シマシテゴザイマスカラ、其通御承知ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 政府委員ニ今ノ所ヲ少シ御尋致シタウゴザイマス、本員ハ反對スル積デ御尋スルノデモナンデモナイデス、實際ドコカ買ウト云フ見込ノ所ガゴザイマスカ、豫算ニ組ンデ出ス位アリマスカラ多少見込ガアラウト思ヒマスガ其邊ヲ政府委員ニ承リタウゴザイマス

(政府委員和田維四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(和田維四郎君) 御答致シマス、原料ノ鑛山ハドコロ買入レル見込カト云フ御尋デゴザイマスガ、鐵山ニ附キマシテハ巖手縣新潟縣ガ一番鐵山ニ富ンデ居リマス、其地方デ買入レル見込デアリマスガ、又六七箇所他ノ地方ニゴザイマスルカラ、尙ホソレニ此調査ガ暫ク掛リマスカラ、其調査ヲ終ヘマシタ上デ確定スル積デゴザイマス、凡ソ二箇所買ウ積デアリマス

石炭山(子爵曾我祐準君) 石炭山ハ九州鐵道ニ依フテ製鐵所ヘ運搬シ得ル範圍内デゴザイマスカラ、大抵製鐵所カラ三十五哩以内ト云フ所デ買入レル積デアリマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 唯今委員長ヨリ説明シマシタ三ツノ案ハ皆併テ問題ニ供シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 二案トモ御異議ナクバ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤曆君) 國籍法案、政府提出、衆議院回付、會議、特別委員長報告

終 ッテ議場ニ報告ヲ致シマスルト宜シクナイト云フノデ再び追跡サレテ再付託ニナリマシタ、其後又出シタ所ニテ遂ニ議會ガ解散ト云フコトニナリ、又今日方ニ委員會ヲ開キマシテ政府委員ノ法律ニ明ナ人ノ論ヲ反覆承リマシテゴザイマス、承リマシテゴザイマスルガ最早前ニ既ニ三度モ研究ヲシタノデアリマスカラシテ如何ニ評議ヲ凝シマシテモ此上ニ致シヤウハナイノデ、所ガ此見マシテモ此入夫ト云フモノガ抜ケテシマシタトキトアル、入夫ヲ此衆議院ノ方デハ此第二號ヲ刪ッテ仕舞フテゴザイマスル所ガ是ハ何デモ本員ナドハ一向民法戸籍法ノヤウナモノモ心得マセヌケレドモ之ガナクテハ甚ダ其他ノ法律ニモ關係ヲシ仕方ガナイ様子ニアリマス、又本員ナドガ説明ニ依テ考ヲ角戸主ノ女ノ拘エタ子ト云フモノハ向ウヘ取ッテ逃ゲラレル理窟ニナル、又殆ト分ラヌヤウニナルト云フモノハ若シ此入夫ヲ刪ッテシマフテ夫婦ニナルコトハ許スケレドモ入夫ト云フコトヲ許サヌコトニナレバ女戸主ノ家ニ入ツテ子ヲ拘ヘル所デ若シ離婚トナレバ固ヨリ其子ハ夫ニ附イテ出行クカラ折エテシマフ譯ニナルヤウニ思ハル、サウ云フヤウナ所ヲ考ヘテ見マスルトドウモ此五條ノ第二號ノ入夫ト云フモノヲ刪ラレテハ斯ウ云フ家族制ノ風俗カラ云ヒマシテモ甚ダ不都合デアル、併ナガラ此國籍ノ重ナルト云フハ籍ニナイノデアルカラ外國ノ人ニ婚姻シテ居ル譯ニアルカラ全ク其家ハ絶エテ矢張入夫ヲ許スト云フ方ニシタイト云フ論デゴザイマシテ是モ反覆理窟ヲ聞イテ見マシタケレドモ矢張前評議ノ通之ヲ刪ツテハドウモ仕方ガナイソレカ其戸主ノ婦人が死ダトキハ其家ハ即チ絶エテシマフ理窟ニナル、外國八ノ夫コトハドウモ其場合ニ依テ避ケラレヌコトデアルカラシテハソレハ耐エテ夫ヲ刪リ、ワレカラ第十六條ノ所ニ於テ「歸化人」、「歸化人」ノ子ニシテ日本ノ國籍ヲ取得シタル者及ヒ日本人ノ養子又ハ入夫」ト云フ所ノ「又ハ入夫」ト云フコトヲ刪ツテ居ル、所ガ先ニ行クテ二十三條ノ所ニ「日本人タル子ガ認知ニ因リテ外國ノ國籍ヲ取得シタルトキハ日本ノ國籍ヲ失フ但日本人ノ妻、夫ト云フコトヲ刪ルナラバ是モ刪ラヌノニ之レダケハ刪リ残シ夫ト云フコトヲ刪ルナラバ是モ刪ラヌノニ之レダケハ刪リ残シテアル、斯ウ云フヤウナ先ヅ有様デ衆議院ノ修正モ向ウノ意見通ニ完備シテ居ルカト云ヘバ矢張不完備ニナツテ居ル刪ルベキモノヲ落シテ居ル、斯ウ云フヤウナ缺點モ見エマスル、ソレカラシテ又第十六條ノ二號及第十六條ノ入ト云フ所ニ此三ノ次ヘ衆議院ノ修正ハ「特命全權公使ト爲ルコト」斯ウ云フコトガ入レテアル、特命全權公使ト爲ルコトヲ禁シテアリマス所ガ是ハ最初國籍法ノ議會ヘ上リマシテ以來幾度トナク評議ヲ盡シマシタ節ニモ特命全權公使ハ外國人デモ支ヘハナイト云フコトデ全體其趣意ハ詰リ此外國ヘ派遣スル所ノ者ハ外國ノ事情ニ明ニアリ又外國ノ辭禮ニ媧レテ居ル人ヲ遣ルガ一ノ交際官デアルカラシテハ大變便利ヲ得ル且ツ又コチラヨリ派遣スルコチラノ目的ヲ達スルニ附イテ向ウノ事情ヲ明ニシタ者ガ大變便利ガ宜イカラ、之ハ寧ソ日本ニ生レタ者ニ限ルコトデハナイ若シ又是ガ何カ派遣サル、所ノ日本ノ目的ニ對シテ不利益ニナルト云フヤウナコトナラバ決シテ遣ス道理ハナイ十

分ニ日本ニ利益ガアルト云フ人ヲ見込ンデ全權公使ニ任ズル譯デアルカラ是等ノコトハ少シモ不都合ハナイ、テ愛國心ノナイ者ヲ選デ全權公使ニスルト云フ答ハナイ、コチラニ十分利益ノアル者ヲ見込ンデ遣ル譯デアルカラ支ヘナリ、且ツ又是等ノ外交官ヲ外國カラ歸化シタ者ニサセヌト云フコトハ決シテ他ノ國ニハナイ、僅ニ南亞米利加ノ一小部分ニ特命全權公使ノミデナク總

テ外交官ト爲ルコトヲ禁ジタ所ガアル位ナコトデ歐羅巴大陸ノ國ニハサウ云フコトヲシタ國ハナイ、斯ウ云フヤウナ理由デモ隨分ヤカマシイ論デアッタケレドモ此度モ除イテアチラヘ回シマシタガ是が向ウデハ又出來ナイコトニ修正ニナシテ居リマス、デ先ヅ今申ス入夫ト爲フタ者ガ國籍ヲ取得スルコトノ出來ナイト云フコト、特命全權公使ニナレヌト云フコトガ即チ此修正ノ大ナルモノ、ヤウニアリマスル、テ反覆評議ヲ致シマシタケレドモ是ハ何分衆議院ノ修正ニ同意スルコトガ出來ナイト云フコトヲ決議致シマシテゴザイマスカラ此段ヲ御報告ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 衆議院ノ回付案ニ同意スルヤ否ヤト云フコトニ附イテノ決ヲ採リマス、委員會ノ報告ニ依レバ同意シ難シト云フノデアリマスガ回付案ニ同意スルト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 同意者ハアリマセヌ、ソレデハ此議院法ノ成規ニ據リマシテ協議會ヲ要求スルト云フコトニナラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 「異議ナシ」ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤脣君) 協議委員ノ數ハ慣例ニ依リマシテ十名トシテ……

○子爵岡部長職君「十名テ相當ト存ジマスル、選定ハ議長ニ御任せヲシタイ〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバサウ云フコトニ致シマス、商法施行法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(公爵德川家達君演壇ニ登ル)

○公爵德川家達君 特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、此委員會ハ行法案ノ特別委員會ハ開會ヲ致シマスコト二回、出席ノ政府委員ニ種々質問ヲ致サレマシテ其答ガアリマシタ末滿場一致ヲ以テ可決スベキモノト議決致シマシタ、其理由ハ昨年ノ五月二十八日ニ黒田侯爵ガ委員長デ居ラレマシタトキニ此演壇テ申述ヘラレマシタル通商法修正案ヲ可決シタ以上ハ結果トシテ此商法施行法案ハ無論可決スベキモノデアルト此理由ヲ以テ可決シマシタ譯デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 本案ヲ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第一讀會ニ移スベントスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス 起立者多數

○議長(公爵近衛篤脣君) 過半數ト認メマス

○公爵德川家達君 讀事日程ヲ變更相成リマシテ直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス 起立者多數

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ直ニ二讀會ニ移リマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 全部ヲ問題ニ供シマス、本案第一條ヨリ第百四十

七條マヂ……

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 是ニテ第二讀會ハ終リマシタ

○公爵德川家達君 二讀會ヲ續イテ開カレンコトヲ希望致シマス

〔贊成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ第二讀會ヲ開キマス、御異議ナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○公爵德川家達君 此際又議事日程ヲ變更サレマシテ非訟事件手續法中改正法律案ノ議事ヲ開カレンコトヲ望ミマス、其理由ハ今朝來委員會ヲ開キマシテ委員會ハ結了ヲ告ゲマシテ報告ヲ致シマシタ存シマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ直ニ非訟事件手續法中改正法律案ニ移リマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○公爵德川家達君演壇ニ登ル

○公爵德川家達君 委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、此委員會ハ今朝開キマシテ質問ノ末是モ唯今本員ノ登壇ノ節述ペマシタル商法施行法案ト交^タ同一ノモノニアラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 「其他」〔贊成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 読會省略ノ動議ハ成立シマシタ之ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 三分ノ二以上ト認メマス 読會省略ニ成リマシタ

○議長(公爵近衛篤脣君) 本案ニ御異議ナクバ原案ニ決シマス

○伯爵勸修寺顯允君 (伯爵勸修寺顯允君演壇ニ登ル)

○伯爵勸修寺顯允君 委員會ノ經過ノ御報道ヲ致シマス、此案ハ理由書ニ書イテアリマス通ノコトデ湯平村ト云フモノハ山川ヲ以テ阻礙セラレテ居リマスカラ他ノ部落ト隔離シテ居リマシテ不便デアル、常ニ物品ガ大分ノ方カラ供給ヲ受ケテ居ルト云フノデアリマス、湯平村ノ人民ハ此大分ニ附屬セ

コトヲ常ニ希望シテ居リマス、大分ノ方デモ差支ナイヤウデ亦速見ノ方デモ差支ナイヤウデゴザイマス、大抵大分ノ方ヘ合併スルノガ便利ト云フノデアリマス、委員會ハ之ヲ異議モナク全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報

- 告致シマス、就キマンシテハ至極簡単ナ案アリマスカラ何卒讀會省略ヲ以テ
直ニ可決アランコトヲ希望致シマス
- 伯爵大原重朝君 読會省略ニ賛成
- 男爵南岩倉具威君 賛成
- 松永安彦君 賛成
- 子爵平松時厚君 賛成
- (其他「賛成」ト呼フ者多シ)
- 議長(公爵近衛篤曆君) 讀會省略ノ動議ガ成立シマシタ賛成ノ諸君ノ起立
ヲ請ヒマス
- 議長(公爵近衛篤曆君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會省略ハ成立シマシ
タ
- (左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)
- 大分縣豐後國速見郡湯平村ヲ同縣同國大分郡へ編入ス
- 附 則
- 議長(公爵近衛篤曆君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス
- (「異議ナシ」ト呼フ者多シ)
- 議長(公爵近衛篤曆君) 香川縣下郡廢置法律案、政府提出衆議院送付、第一
讀會ノ續特別委員長報告
- 議長(公爵近衛篤曆君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシ
タ
- 此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス
- 議長(公爵近衛篤曆君) 御異議ハゴザイマスカ
- (「異議ナシ」ト述フル者アリ)
- 議長(公爵近衛篤曆君) 然ラバ原案可決ト認メマス、次ハ府縣農事試驗場
國庫補助法案、衆議院提出、第一讀會ノ續特別委員長報告
- (侯爵松平康莊君演壇ニ登ル)
- 侯爵松平康莊君 委員會ノ過程並ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、此委員會
ハ去ル二十日ニ十六日ニ正副委員長ヲ選ビマシテ、二十日二十一日ト今
日ニ此日數ヲ以テ委員會ヲ結了致シマシタ、此法案ノ理由ハ府縣ノ農事試
驗場ニ國庫カラシテ補助サセルト云アリマシテ、此標題ノ通デ外ニ別
ニ何モナインデアリマス、此法案ノ中ノ第一條ノ所ニ國庫ハ毎年度金十五万
圓ト云フ所ノ下ニ「以内」ト云フ字ヲ委員會デ加ヘマシタ、此理由ハ金十五万
圓ト書イテ置キマスレバ十五万圓ダケハ残ラズ使コトガ出來ルヤウニ見エ
マスルニ依リマシテ以内ト云フ字ヲ加ヘラバ十萬圓モ十萬圓以下デモ出來
ルト云フ譯ヲ以テ此以内ト云フ字ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラシテ第四
條ノ此法律ニ依リ補助ヲ受クル試驗場トアル其法律ニ依リ補助ト云フ下ニ
「金」ノ字ヲ加ヘマシタノハ第二條ノ第二項ニ是ニ補助金ヲ交付スヘシト云フ
所ニ金ノ字ガアル、是ト同ジ事柄デアルカラシテ金ノ字ヲ加ヘタ方ガ宜カラ
ウト云フノデ此金ノ字ガ加ツタノデアリマス、ソレカラ第七條ニ至ツテ府縣
農事講習所規程、府縣水產試驗場規程、茲ニ所ト云フ字ガアリマス、又二
項ニモ同ジク水產試驗所ト所ト云フ字ニナツテ居リマス、是ハ衆議院カラ
ウト云フノデ此金ノ字ガ加ツタノデアリマス、ソレカラ一番仕舞ノ第八條ノ所ニ明治三十一年四月一日ヨリ施行スト云フノヲ明治三十三年
即チ來年度ニナリマシタノハ是ハ色ニ政府ノ方ニモ開イテ見マスル所ガ實際
三十二年度カラシテヤマスルト云フト地方ノ縣會モ既ニ開ケテシマヒマシ
タシ、此度此タメニ縣會ヲ開クト云フノモ何デアルカラシテ、其外差支ノコト
- 子爵本荘壽亘君 賛成
- 子爵内田正君 賛成
- 子爵山本實庸君 賛成
- 男爵南岩倉具威君 賛成

- 男爵中川興長君 賛成
- 子爵千種有梁君 賛成
- 松永安彦君 賛成
- (此他「賛成」ト述フル者多シ)
- 議長(公爵近衛篤曆君) 論會省略ノ動議ハ成立シマシタ、讀會省略ニ賛成
ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス
- 議長(公爵近衛篤曆君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシ
タ
- 此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス
- 議長(公爵近衛篤曆君) 御異議ハゴザイマスカ
- (「異議ナシ」ト述フル者アリ)
- 議長(公爵近衛篤曆君) 然ラバ原案可決ト認メマス、次ハ府縣農事試驗場
國庫補助法案、衆議院提出、第一讀會ノ續特別委員長報告
- (侯爵松平康莊君演壇ニ登ル)
- 侯爵松平康莊君 委員會ノ過程並ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、此委員會
ハ去ル二十日ニ十六日ニ正副委員長ヲ選ビマシテ、二十日二十一日ト今
日ニ此日數ヲ以テ委員會ヲ結了致シマシタ、此法案ノ理由ハ府縣ノ農事試
驗場ニ國庫カラシテ補助サセルト云アリマシテ、此標題ノ通デ外ニ別
ニ何モナインデアリマス、此法案ノ中ノ第一條ノ所ニ國庫ハ毎年度金十五万
圓ト云フ所ノ下ニ「以内」ト云フ字ヲ委員會デ加ヘマシタ、此理由ハ金十五万
圓ト書イテ置キマスレバ十五万圓ダケハ残ラズ使コトガ出來ルヤウニ見エ
マスルニ依リマシテ以内ト云フ字ヲ加ヘラバ十萬圓モ十萬圓以下デモ出來
ルト云フ譯ヲ以テ此以内ト云フ字ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラシテ第四
條ノ此法律ニ依リ補助ヲ受クル試驗場トアル其法律ニ依リ補助ト云フ下ニ
「金」ノ字ヲ加ヘマシタノハ第二條ノ第二項ニ是ニ補助金ヲ交付スヘシト云フ
所ニ金ノ字ガアル、是ト同ジ事柄デアルカラシテ金ノ字ヲ加ヘタ方ガ宜カラ
ウト云フノデ此金ノ字ガ加ツタノデアリマス、ソレカラ第七條ニ至ツテ府縣
農事講習所規程、府縣水產試驗場規程、茲ニ所ト云フ字ガアリマス、又二
項ニモ同ジク水產試驗所ト所ト云フ字ニナツテ居リマス、是ハ衆議院カラ
ウト云フノデ此金ノ字ガ加ツタノデアリマス、ソレカラ一番仕舞ノ第八條ノ所ニ明治三十一年四月一日ヨリ施行スト云フノヲ明治三十三年
即チ來年度ニナリマシタノハ是ハ色ニ政府ノ方ニモ開イテ見マスル所ガ實際
三十二年度カラシテヤマスルト云フト地方ノ縣會モ既ニ開ケテシマヒマシ
タシ、此度此タメニ縣會ヲ開クト云フノモ何デアルカラシテ、其外差支ノコト

モアルダラウカラシテ三十三年ニナツタ方ガ宜カラウト云フノデ委員會デハ此修正通ニ各條トモ可決致シタ次第ノデアリマスルデ、ドウカ滿場ノ諸君ニモ此案ニ御賛成アツテ速ニ可決アランコトヲ希望スル次第デゴザイマス

○周布公平君 第八條ノ三十二年ヲ三十三年ニ改メラレタル此理由ハ委員長カラ御辯明ニナリマシタガ、是ハ委員會ノ修正ヨリモ政府ノ方ノ都合ノヤウニ唯今承リマスルデアリマス、政府ニ於キマシテ三十二年デハ困ル、三十三年ヨリノ事情ガアルカト思ヒマスカラ其邊ヲ質問致シタイ、尙ホ序ニ承リタインマスルガ、尙ホ其後増設ニナタヤウニモ考ヘマスルガ、其官立ノ農事試驗場、其他ノ官立ノ農事試驗場ニ要シマスル所ノ本年度又ハ三十三年度デモ宜シウゴザイマスルガ、分割シテ要スル所ノ費用ノ額ヲ委シク承リタイト思ヒマス

(政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君) 御答ヲ致シマスルガ第八條ノ三十二年ヲ三十三年ニ改メラレマシタニ附キマシテノ政府ノ考ハ委員會ニ於キマシテモ又第一讀會ノ時ニ於キマシテモ申上ゲテ置キマシテゴザンスルガ、府縣農事試驗場ヲ補助致シマスルニ致シマシテモ、既ニ府縣ノ府縣會モ三十二年度ニ對スル縣會モ濟ンデ居リマシテ三十二年度ニ向テノ經費ハ確定致シテ居ルノデゴザイマス、故ニ此際法律ヲ以チマシテ既ニ確定シトル所ノ府縣ノ農事試驗場ニ補助ヲ與ヘルト云フコトハ取リモ直サズ府縣ノ既ニ確定シタモノヲ亂スヤウニナリマス、次ニハ此補助ヲ致シマスルニ附キマシテハ政府ニ於キマシテモソレゾレ規則モ拵ヘヌナリマセズ、又一方ハ府縣ニ於キマシテモ其設備ヲ致サナケレバナリマセヌ、ソレガタメニモ少クモ數箇月ヲ要スルコトデモゴザンスルシ、且ツサウナリマシタ所デ數箇月後ニナリマシタ所デ矢張特ニ縣會ヲ開イテ決議シナケレバナリマセヌ、又中ニハ臨時縣會ノアル場合モゴザンスルガ此試驗場ノアル所デハ皆開イテ吳レ開イテ吳レト云フコトニナツテ却テ地方ノ行政事務ヲ亂スヤウニナリマスルカラ此點が重ナル不都合アリマス、加之其經費ト云フコトモ段々今日ハ經費ヲ要スル場合デゴザンスルカラ二十ニ向クテ更ニ財源ヲ見出スト云フコトモ亦一ツノ困難デゴザンスルカラ、種種ノ理由ニ依リマシテ委員會ニ於キマシテハ三十三年ニスルト云フ主意ヲ御同意ヲ得マシタ譯デゴザイマス、尤モ此コトニ附キマシテハ衆議院ニ於キマシテモ段々申シマシタ所ガ委員會デハ殆ド全會ノ意見ニ依テ三十三年ト云フコトニナリマシタ、本會ニ於キマシテ改メラレマシタノデゴザイマス、次ニ農商務省ニ於キマシテ所轄シテ居ル國庫カラ支出シテ居ル試驗場ハ本場支場併テ十箇所デゴザイマス、三十一年度ニ向ヒマシテハ本場ハ一万五千圓、支場ハ五千圓内外ニナツテ居リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス 起立者多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數デゴザイマス
○伯爵大原重朝君 直チニ第一讀會ヲ開カレンコトヲ……
(「贊成」ト呼フ者數名アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者數名アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

右本院提出案及送付候也
明治三十二年二月六日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿
府縣農事試驗場國庫補助法

第一條 府縣農事試驗場ノ事業ヲ獎勵確實ナラシムル爲國庫ハ毎年度金拾五萬圓ヲ支出シテ其ノ費用ヲ補助スヘシ

第二條 農商務大臣ノ定ムル府縣農事試驗場規程ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ經タル府縣農事試驗場ニ付農商務大臣必要アリト認メタルトキハ之ニ

補助金ヲ交付スヘシ但シ一府縣一箇所ニ限ル

第三條 各試驗場ニ交付スル補助金ハ其ノ設立者ノ負擔額ト同額以内ニ限ル

第四條 此ノ法律ニ依リ補助ヲ受クル試驗場ノ設立者ハ補助年期間其ノ試驗場經費ヲ繼續支出スル義務アルモノトス

第五條 試驗場ニ補助金ヲ交付スルハ五箇年ヲ以テ一期トス滿期ノ後尙必

要アルトキハ之ニ繼續スルコトヲ得但シ農商務大臣ニ於テ試驗場ノ管理不適當ナリト認メタルトキ又ハ府縣農事試驗場規程ニ違背シタルトキ又ハ第四條ノ義務ヲ盡スコト能ハサルトキハ補助年期間ト雖モ其ノ補助ヲ廢シ若ハ停止スルコトヲ得

第六條 此ノ法律施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ農商務大臣之ヲ定ム

第七條 此法律ハ農商務大臣ノ定ムル府縣農事講習所規程、府縣水產試驗所規程、府縣水產講習所規程ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ經タル府縣農事講習所、府縣水產試驗所、府縣水產講習所ニ適用ス

但シ其ノ補助金ハ第一條ニ定ムル金額内ニ於テ支出スルモノトス

第八條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

(特別委員修正案)

第一條 府縣農事試驗場ノ事業ヲ獎勵確實ナラシムル爲國庫ハ毎年度金拾五萬圓以内ヲ支出シテ其ノ費用ヲ補助スヘシ

第四條 此ノ法律ニ依リ補助金ヲ受クル試驗場ノ設立者ハ補助年期間其ノ試驗場經費ヲ繼續支出スル義務アルモノトス

第七條 此ノ法律ハ農商務大臣ノ定ムル府縣農事講習所規程、府縣水產試驗場規程、府縣水產講習所規程ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ經タル府縣農

事講習所、府縣水產試驗場、府縣水產講習所二適用
但ノ共、輔助金、第一條ニ定ム、レ金額内ニ於ク支給ス

○議長(公爵近衛篤齊君) 全部委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ
第八條 此ノ法律ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

〔「異議ナシ」ト呼フ者數名アリ〕

〔贊成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス、御異議ガ
ナクバ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者數名アリ〕

勵法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

○伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル
〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

シマス、此法案ハ衆議院ノ提出ニ係リマスモノデ政府モ之ニ同意サレ異議ヲ言ハレナイサウデゴザイマス、此案ノ目的ハ是マデ遠洋漁業ニ從事シマスル

船舶ニ獎勵サレテアリマシタ金高デハ獎勵ガ未ダ足ラナイニ依ツテ其獎勵ヲ
増スト云フノガ生意ノヤウデゴザイマス、ソレデ此第二條ノ「登録順數氣船

百噸以上帆船六十噸以上ト云フノヲ「總噸數汽船五十噸以上帆船三十噸以上」改マックタノデゴザイマス、此處二二ツノ修正ニナルヤウナ譯ニゴザリマス

ル「登簿噸數」ヲ「總噸數」ニ直サレルコト、ソレカラ汽船六百噸以上帆船六十噸以上一ト、ザリマシタノヲ汽船五十噸以上帆船三十噸以上一ト斯^ハナリ

マシタノデゴザイマス、デ登簿順數ヲ總順數ニ變ヘマスルト百二十口に附キ
マシテハ氣合ニナリマスト、百頭ノ氣合トクレカラ六十頭ノ氣合ヲ持物ヲ賣

ミマスル順數ト云フモノハ丁度同ジヤウ船ソリヤムスカラ、ソレデ總順數ニ
改メマベレト氣船ノ方ア大變ヒ速助ヲ乞テゴバケレ頃攻メ會ク、ソリニテ

シタヤウニ見エマフル帆船モ各旗鸣鑿ラ縦鸣鑿ニ直シマスト六十吋ノモノ
ナラ其百分ノ六位ガ増シマスル次第アリマス、ソレカラ船ノ噸數ノ制限ヲ

假ク致シマシタノハ是マテノ制限元ハ願出テル人ガ甚少イ、又ハツノ船ニ制限ガアルノト獎勵金ガ足ラナイトデアル、ソレテ其制限ヲ低クシテ三十

以上ノ帆船ニ於テモ許ストシテ遠洋漁業ニ從事スル者ガ多クナラウト云
フノデゴザイマス、ソレカラ第五條中ノ獎勵金ニ附キマシテ「汽船登簿噸數

……從前ノ獎勵金高ヨリ三倍ニ改正スルト云フ譯デゴザイマス、ソレカラ

帆船ニ於キマンテハ一噸是マデ五圓ノモノヲ十圓ニ上ゲタ、ソレデ從來ハ汽船帆船共ニ登簿噸數一噸ニ附イテ五圓ヅ、ニアツタモノヲバ此改正デハ汽船

ハ總噸數一噸ニ附イテ十五圓、帆船ハ十圓、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、
デ汽船ハ多クツテ帆船ハ少イ、是ハドウ云フ譯デアルト申シマスルト先ツ是

ハ凡ソ比例ヲ……汽船ヲ調製致シマスル其費用ト帆船ヲ調製致シマスル其費用ト凡ソマア三ト二ノ割合位ニナツテ居リマスルノデソレニ比例ヲ取ツテ是用ト凡ソマア三ト二ノ割合位ニナツテ居リマスルノデソレニ比例ヲ取ツテ是ハ立テラレタモノデゴザイマス、ソレデ此通ニ改正ニナリマシテ續々此獎勵

金ヲ願ウモノが出テ來ハセ又カト云フコトデ……假ニ汽船帆船平均六十噸ノ
船ガ年々十五艘ツ、十箇年間殖エマシタトキノ計算ヲ致シテ見マスルト船ハ
百五十艘ニナリマス、噸數ガ九千噸ニナル、此獎勵金ト云フモノハ十一萬二
千圓ニホカナラナイノデアリマス、是ハ實際ハ近モ斯様ニハ殖エルコトハナ
カラウ、併シ若シ斯様ニ殖エルヤウデアレバ誠ニ結構ナコトデアル、ソレデ此
前ノ遠洋漁業獎勵法ノ第一條ニ是ハ明治三十年ニ發布サレマシタモノデゴザ
イマスルガ是ニ斯ウ云フコトガアルノデゴザイマス、遠洋漁業ヲ獎勵スルタ
メニ今後ハ毎年度十五万圓以内ヲ支出スベシトスウゴザイマス、ソレデ六
十噸ノモノガ百五十艘ニナリマシテモ獎勵金ハ今度改正ニナリマシタ通ニ致
シマシテモマダ十一萬二千圓ニシカナラヌ譯デアリマスルカラ此法案ハ此儘
可決スペシト委員會デ決議致シマシタ次第デゴザイマス、此段ヲ……
○子爵内藤政共君 委員長ニ質問ヲ致シマス、唯今御報告ノコトデ殆ド分リ
マシテゴザイマスガ委員會ニ御議論ノアツカラウト考ヘマスルコトヲ一ツ質
問致シタウゴザイマス、汽船ヲ、元ト登簿噸數デアツタモノヲ總噸數ニ直シテ
又其總噸數ニ附イテ……今マデ登簿噸數ニ附イテ五圓ト云フモノヲ之ヲ汽船
ニ在ツテハ總噸數ニ附イテ一噸十五圓、帆船ニ在ツテハ之ヲ總噸數ニ附イテ一
噸ニ附キ十圓ト云フコトニナリマスト云ト云フト是ハ帆船ニハドヒ差ハアリマ
セヌガ汽船ニハ凡ソ今日マデアリ此漁業杯ニ從事シマス所ノ小サイ汽船デゴ
ザイマシタナラバ殆ド總噸數ハ登簿噸數ノ倍ヨリ餘計ニナツテ居ル位デアラ
ウト思ヒマス、一ノ船デ登簿噸數ト總噸數トノ割合ガ其位ニナラウト思ヒマ
ス、サウ致シマスト此第五條ノ修正ニ依ツテ同ジ船舶ハ殆ド六倍以上ノ保護ヲ
今日ヨリ受ケルト云フコトニナリマス、俄ニ六倍ニスルト云フハ非常ナ増額
カト考ヘマスルガソコノ所ハ委員會デハ御議論ガアリマシタカ

三倍ニナツタ、兩方合セマシテ金ニ積リマスト凡ツ二十圓位ニナル、登簿噸數ガ増シタノト人員ヨリ外ニハチヲモ關係ナイ、サウ致シマスト先ツ假ニ百噸ノ汽船ヲ造ル百噸ノ汽船ハドノ位出來ルカト云フト是ハ政府デ調ベタノデアリマスガ凡ツ二万何千圓ニナル、サウスルト其二万圓ニ對シテ此處デ一割ノモノヲ與ヘルトスレバ、一年ニ一千圓遣ラナクテハナラヌ、ソレデ此所デハ十五圓ト致シマシタカラ千五百圓遣ル、アトノ五百圓ハ即チ登簿噸數ガ總噸數ニ増シタノデ先ツ調製費ノ一割ニハ回ルト云フヤウナ勘定ニ委員會デハ見タノデアリマス、先ヅ其位ハ相當デアラウ、宜カラウト云フ委員會ノ決議デアリマス、ソレカラ此船ガ小サクナツタ、成ル程五十噸ノ汽船ト申シマスト御說ノ通誠ニ小サナモノニアリマスルガ此遠洋漁業獎勵法テ許サレテ居ル遠洋漁業ト云フモノハ強テ百里千里ト云フ沖ヘ出掛ケナクツモ宜イノア、海岸カラ一日デ出テ歸クテ來ラレル所モ漁業ノ種類ニ依ツテハ矢張遠洋漁業ニナル、又場所ニ依クテモサウ云フコトニナル、ソレデ二日出タトカ三日出タトカ或ハ風ガ吹ケバ他泊シテ復タ出掛ケルト云フヤウナ譯デ亞米利加ノヴァンクーヴアル邊カラ日本海ニ出テ來ルトカ或ハベーリング海峡ヘ行クトカト云フ種類バカリデナク或ハ近海漁業ト真ノ遠洋漁業トノ間位ノ漁業モ此獎勵法デハ許サレテアリマスニ依クテモサ様ナ船モ差支ナカラウサウシテ又或ハ危險デハナイカト云フ御懸念カラノ御質問カモ知レマセヌガ、サウ云フノハ即チ此獎勵法ニ依リマシテ總テ御取締ニナル規則ガアリマスノデ農商務大臣ノ検査ヲ經テ許可ヲ得ルノアリマスカラ船ガ小サイタメニ危険トカ或ハ儀裝トカ云フモノモアリマスガソレニ合ハストカ危險ナ船ハ御出シニナルヤウナコトハナイカラ下ノ限ヲ小サイモノニシテモ差支ナカラウト云フノデ委員會デハ斯様ニ改メマシタ

○子爵内藤政共君 意見ヲ述ベタウゴザイマスガ宣シウゴザイマスカ
○議長(公爵近衛篤齊君) 本案二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス
○子爵内藤政共君 御意見デスカ

○議長(公爵近衛篤齊君) 宜シウゴザイマス

(子爵内藤政共君演壇ニ登ル)

○子爵内藤政共君 本員ハ此案ニハ反對ノ意見ヲ持ツテ居リマス、併シ極簡短ニ述ベマス、唯今モ委員長ニ質問ヲ致シマシタデアリマスガ總體汽船帆船ニ依ラズ總噸數ニ附イテノ保護金ト云フモノハ至極宜カラウトハ考ヘマスルケレドモ既ニ汽船ノ外國ヘ航行スル所ノ航海獎勵法ニモ矢張總噸數デヤツテアリマスカラ、ソレ故ニ總噸數デヤルヤウニシタモノト考ヘマスガ併ナガラ之ヲ登簿噸數ニシテ百噸デアツタノ汽船デハ五十噸トシ帆船デハ五十噸ノヲ三十噸ニスルト云フト汽船ノ如キハ總噸數ト登簿噸數ノ割合ハ少シ大形ノ汽船ニアリマスレバ百ニ對スル六十位ノ割合ニナルダラウト考ヘマス併シ漁業杯ヲ致ス所ノ少サイ船ハ汽船ニ在ツテハ是ハ客モ積ムデナシ、荷ヲ積ムデナイカラ殆ド百ニ對シ五十以下ニナルデアラウト考ヘル、然ルニ第55條ニ於テ總噸數ニ付テ十五圓ト云フコトニシマスト殆ド六倍ノ保護ニナルデアラウト思ヒマス、既ニ委員長モ言ハレタ通殆ド百噸ノ船ト看テソレガ二万圓デ出来ルトシマスレバ、タシカ二千圓ト言ハレタヤウデアリマスガ、サ

ウ致スト元價二万圓ノモノニ附イテ二千圓ト云フト一割ノ保護ヲ與ヘルト云フコトニナルデアラウト思ヒマス、サウ致スト云フト小サイ汽船ヲ持コテ漁業ヲセズニ居ツテモ一割ノ利益ハアルヤウニナツテ來マス、餘リ保護ガ大キクハナイカ、保護ガ大キイト云フト保護ノタメニ業ヲセズニ遊シニ居ルヤウニナル、僅ナ業ヲスレバ宜シイコトニナリハセヌカト思ヒマス、ソレカラ帆船ニシテモ三十噸ト云フ小サイモノニセヌデモ遠洋漁業ヲ營ムニハ總テ大底五十噸乃至六十噸以上ノモノデアラウト考ヘマス、是等ハソレ程餘リ十分ノ保護ヲスルト云フト却テ漁業ノ獎勵ニナラズシテ遊ブ者ガ餘計ニ出來ルト云フコトニナラウカト思ヒマスカラ本案ハ到底之ヲ否決スベキモノト云フ考デハゴザイマセヌガモウ少シ能ク取調べノ上第十四議會ニモ提出サレル方ガ宜カラウト考ヘマスカラ本會期ノ所ハ否決セラレシコトヲ希望致シマス○伯爵吉井幸藏君 唯今本員ガ内藤君ニ二千圓ト御辯明申上ゲマシタ金額ハ五百圓デゴザイマシタカラ正誤致シマス○子爵曾我祐準君 政府委員ニチヨット質問致シタウゴザイマスガ現在デ此遠洋漁業獎勵法ニ依ツテ費シテ居ル金ハ何程デゴザイマスカ、ソレカラ内藤君ノ云ハレル如ク噸數ノ勘定ノ改マルノト保護率ガ變ルノデ凡ツ六倍ニモナルヤウニ言ハレマシタガ果シテ政府委員モサウ認メラマスカ、今一箇條ハ此法律ガ通過シマシタ以上此保護ニ費ス所ノモノガ十一万二千圓ト云フコトヲ委員長ガ言ハレマシタガ政府デモ果シテ左様ニ認メテ居ラマスカ此三箇條ニ就イテ質問ヲ致シマス○政府委員牧朴眞君(演壇ニ登ル)
○政府委員(牧朴眞君) 唯今ノ御質問ニ對シテ申上マスガ此遠洋漁業獎勵法ヲ實施シマシタコトハ昨年ノ四月ヨリ實施シマシタコトデソレヨリ今日マデニ願ツテ來マシテ是ニ許可ヲ與ヘルマシタ船ハ僅ニ八艘デゴザイマス、其タメニ獎勵金ヲ下付シマスコトハ五千五百圓デゴザイマス、是ガ現在……○子爵曾我祐準君 ソレハ一年間デアリマスカ十箇月デゴザイマス○政府委員(牧朴眞君) 一箇年間デゴザイマス○子爵内藤政共君 ソレハ帆船デスカ汽船デスカ
○政府委員(牧朴眞君) 今日ハ汽船ハ一艘モゴザイマセヌ、皆帆船バカリデゴザイマス○子爵曾我祐準君 他ノ二箇條ノ方モ御答ヲ願ヒマス
○政府委員(牧朴眞君) 此衆議院提出案ノ通ニ改正ニナリマシタ所デ凡ツ將來ノ補助金額ヲ積ツテ見マシタ所ガ當年ノ即チ四月一日ヨリ此改正案ガ施行サレマシテ今後何程ノ船が增加スルデアラウカト云フスウ云フコトハ能クハ分リマセヌデゴザイマスガ、十分ニ積リマシテ凡ツ三十艘デアラウ、是ハ増加デゴザイマス、ソレカラ其後ハ段々三年四年五年トスウシマシテモ凡ツ十艘宛増加スルデアラウ、又十年ノ後ニ至リマスレバ二十艘モ増加スルデアラウトスウ云フ凡ツノ……空想デゴザイマスガ、凡ツ其考ヲ持チマシテ此獎勵金ニシマス金額ヲ積リマシテゴザイマス、所ガ三十一年ハ今申上ゲマス五百五百圓デゴザイマス、三十二年度ニ至リマシテ三万九千圓其次ハ五万九千圓其次ガ八万九千圓ソレカラ一番上ボリマシタ所デチヨグト今少シ申上ゲマセウ、八万九千圓ソレカラ十万四千圓十一万九千圓斯ウ云フ風ニナリマシテ尙ホ上ボリマシタ所デ丁度十二万四千圓ト云フ年ガゴザ

イマス、ソレデ其他此……

〔子爵曾我祐準君「ソレハ年度ハ何時頃デスカ」ト述フ〕
年度ヲズット申上ゲマセウカ

述フ

十二万四千圓ト云フノガソレガ四十三年度ゴザイマス、然ル所法律デハ年
年十五万圓内外ヲ獎勵スルト云フコトデゴザイマス、丁度此十二万圓ニナリ
マシテモ餘リガゴザイマスガ、此餘リハ監督其他或ハ船ノ検査等ノ入費竝ニ
生徒ヲ訓練シマス所ノ費用モ這入りマス、ソレヲ合セマシテモ今日ノ見込デ
ハ十五万圓以内デ足リ合フコトデアラウト考ヘテ居リマス、今一ツハ甚ダ失
敬デスガ何デゴザイマシタカ

○子爵曾我祐準君 今内藤子爵ハ現行法ヨリ六倍ノ實際保護ニナルト言ハレ
マシタガ、左様御認アルカ

○政府委員(牧朴眞君) 此法案ニ就キマシテ農商務省ノ方デ調ベマシタ所デ
ハ六倍ニナリマス積デハゴザイマセヌ、ソレモチヨット大體申上ゲマスルガ

今日マデノ獎勵法ニ依リマスルト御承知通汽船帆船トモ一噸五圓ゴザイマ
スガ甚ダ此汽船ノ方ハ割合が悪ルイノデアリマス、此俄ニ十五圓トナル一方
ノ方ハ十圓トナルト大變増加スルヤウデゴザイマスケレドモ、是ハ衆議院ノ
提出者ノ意見ヲ聞イテ見マスルト詰リ製造費ニ依ラテ其割合ニ依ラテ獎勵金
ヲ受ケル方ガ宜シイ、今日ハ帆船ノ方デゴザイマスレバ僅ニ登簿噸數ト總噸

數ハ僅百分ノ六ノコトデゴザイマスケレドモ汽船ノ方デゴザイマスルト唯今
モ御説ガゴザイマシタ通ニ登簿噸數ト總噸數ノ割合ハ違ヒマス、凡ソ農商務

省ノ認メテ居ル所デハ百分ノ四十ノ差デアル百分ノモノデアレバ丁度四十噸
ダケ増加致シマシタ、ソレニ致シマシテモ丁度先刻委員長ノ申サレマシタ通

ニ凡ソ百噸ノ船ニシテ製造費ハ何程掛リマスルカト申シマスルト、凡ソ二万
二千圓デ是ニ百分ニ對スル一噸十五圓ヲ獎勵シマスレバ僅カ千五百圓下付ス

ルト云フヤウニナリマス、之ヲ一方カラ噸數ノ方カラ割合マシテモ十分ノ六
ニナルコトハゴザイマスマイト思テ居リマス

○子爵内藤政共君 序ニモウ一つ伺ヒマス、唯今明治四十一年ダカ
ノ非常ニ高イ所マデノ御計算ガアリマシタケレドモ、マア此御計算ハサウデ
アラウト云フ話デアルカラ屹度サウデアルト云フ御計算デハナイデゴザイマ
スガ……

(一七)

サウ噸數ノ増加スルコトモゴザイマスマイ、又漁船ノ増加シマスルコトハ最
モ希望致シテ居リマスルガ故ニ各地ニモ十分ニ今日ハ獎勵ヲ致シテ居リマ
スルケレドモ漸ク當年ハ僅カ八艘ノ願、是モ獎勵金ガナイカト云フト今日マ
デ獎勵金ガゴザイマスケレドモ漸ク八艘位ノモノニアリマス、將來私共ノ積
往クト八十九艘、三十八年度ヘ往クト九十六艘ソレカラ四十二年度ヘ往クト
百二十四艘斯ウ云フ風ニ増加シテ往クダラウ、尤モ其内ニ此獎勵法ニ於キマ
シテハ造船後十五年以上ヲ立ッテ居リマス船ハ獎勵金ヲ與ヘマセヌノデゴザ
イマスカラ段々減リマス船ガゴザイマス、ソレデ凡ソ此取調ヲ致シテ見マス
ルトマア十分増シテモ是位百三四十艘ノ數ニナルダラウ大ニ此見込ガ達ヒ
マシテ二倍モ三倍モ獎勵金ガ増加スルコトハ決シテアリマスマイト考ヘテ居

リマス
○議長(公爵近衛篤曇君) モウ大底御議論モ盡キタヤウデゴザイマスカラ決
ヲ採リマス、本案二讀會ニ移スベントスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤曇君) 過半數ト認メマス、是ニテ暫時休憩ヲ致シマス
ヲ起立者 多數

○議長(公爵近衛篤曇君) 過半數ト認メマス、是ニテ暫時休憩ヲ致シマス
ヲ起立者 多數

○議長(公爵近衛篤曇君) 今朝御委託ニナリマシタル委員ノ姓名ヲ御報道致
シマス

○議長(公爵近衛篤曇君) 本日政府提出権利收用ニ關スル法律案ヲ受領シタリ
委員長副委員長左ノ通常選セラレタリ

北海道水產稅則廢止法律案外一件特別委員會
委員長(公爵二條基弘君) 今朝御委託ニナリマシタル委員ノ姓名ヲ御報道致
シマス

- 好退藏君 濱尾新君 男爵南岩倉具威君
富田鐵之助君 遵君 三崎龜之助君
小幡篤次郎君
- 議長(公爵近衛篤脣君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス
○伯爵吉井幸藏君 日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ニ移ランコトヲ希望致シマス
- 男爵杉溪言長君 贊成
○村田保君 贊成
〔賛成ト呼フ者多シ〕
- 議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ直チニ二讀會ニ移リマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵近衛篤脣君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス
〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕
- 明治三十年法律第四十五號遠洋漁業獎勵法中左ノ通改正ス
- 第三條中「登簿噸數汽船百噸以上帆船八十噸以上」ヲ「總噸數汽船五十噸以上帆船三十噸以上」ニ改ム
第五條中「汽船登簿噸數每一噸一箇年五圓」ヲ「汽船總噸數每一噸一箇年十五圓」ニ改メ
「帆船登簿噸數每一噸一箇年五圓」ヲ「帆船總噸數每一噸一箇年十圓」ニ改メ
一號及二號但書中「登簿噸數」ヲ「總噸數」ニ改ム
- 附則
此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス
- 議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ二讀會可決ト認メマス
○伯爵吉井幸藏君 第二讀會ヲ直ニ開カレントヲ希望致シマス
○男爵杉溪言長君 贊成
〔其他賛成ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵近衛篤脣君) 種牡馬検査法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、長岡子爵
原案可決ト認メマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ二讀會ニ移リマス、御異議ガナク
バ原案可決ト認メマス
- 議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ二讀會ニ移リマス、御異議ガナク
バ原案可決ト認メマス
- 議長(公爵近衛篤脣君) 種牡馬検査法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、長岡子爵
〔子爵長岡護美君演壇ニ登ル〕
- 子爵長岡護美君 委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、此案ハ誠ニ簡單な案デ
ゴザイマシテ委員會ハ一回開キマシテ直チニ可決ニ御報告ヲ致ス譯デゴザイ
マス、現行法ノ第二條第一項ニ此検査證書ノ有效ハ満一箇年ト云フコトニ
ナツテ居リマス、然ルニ此牡馬ハ満四歳ヨリ十六歳マデノ間ハ矢張種馬ニ供
スルト云フコトガ獨り我邦ノミナラズ大概海外諸國ニ於テモ同様ナ譯デアリ
マスル、ソレテ毎年検査スルト云フコトニナツテハ其手數ノ上ニ繁雜ナルコト、又從ツテ費用モアルコトデアリマスデ餘程其實際
ノコトハ取扱ニ面倒ガアルノニアリマス、ソレデ又今日ハ此海外ヨリ輸入ス
ル所ノ種馬ハ五千圓以上ノ値ヲスル馬モアルノデアリマスカラ其馬ノ輸入ノ
未此値ヲ拂ウテ各地方ニ於テ馬ヲ引受ケテ來ルコトニナツテ斯様ニ繁細ナコ
トガアツテハ誠ニ困ル譯デアル、ツレデ今度衆議院デハ矢張此案ヲ提出シテ
ドウカ地方ノ狀況ニ依テハ知事ノ具申等ニ依テ年限ヲ少シ緩メテサウシテ毎
年検査ヲスルコトハ省キタイト云フコトニナツタノデアリマス、衆議院ノ委

- 員ノ中ニハ十六年ト云フコトニ限ラシテ置イタラ宜カラウト云フコトニアッ
タ様子デアルデス、然ルニ政府ハ之ニ反對シマシテサウ一般ニ十六年ト限ッ
テ居レバ此病馬セアレバ又其體格ノ缺點モ生ジテ來ル譯デアリマスカラシテ
先ヅ其各地方ノ已ムヲ得ヌ状況ニ依クテ年限ヲ緩メタ方ガ宣カラウト云フヤ
ウナ段々辯論モアツテ其精神カラ第三條第一項ノ但書ヲ加ヘル必要ヲ生ジテ
タノデゴザイマシテ之ヲ矢張一方ニ緩メレバ一方ハ又普通ノ規則ハ毎年ト云
フコトニナツタ方ガ至當デアルト云フコトデアルカラ即チ毎年ト云フ二字ヲ
加ヘタ譯デアリマス、第八條ノ次ニ又當分ノ中島嶼ニ限り此法律ヲ施行セサ
ルコトヲ得ト云フノガ是ハ薩摩デ申セバ大島トカ其他諸島モアルノデアリマ
スカラ是等ハ本年マデニヤ検査ヲシテ居ツタ、検査ヲ毎年スルヤウナコトハ
到底官民共ニ不便ナ譯デアルノデアリマスカラソレデ此第九條ヲ加ヘテソレ
カラ九條以下ヲ順次ニ繰下ゲルコトニナツテ居ルノデアリマス、一體政府ノ方
針ハ成ルタケ牡馬ノコトハ十分ニ繁生ヲサシタイト云フコトデアリマシテ既
ニ今度產牛馬組合法ト云フヤウナモノヲ議場ニ提出サレタイ考ガアツムヤニ
アルノデアリマスガ何分條約改正ノ實施ノ期モ迫クテ居リマスノデ他ノ法案
ニ忙シカツタノデ今度ハ其案ヲ提出スルニ至ラナカラ様子デアリマス、是
ハ倍々此牡馬ノ繁生ナルコトハ官民共ニ希望スル所デアリマス、ソレデ此案
ハ全ク衆議院ノ案ニ政府モ無論同意ヲシテドウカ官民共ニ便益ヲ得タイモノ
デアルト云フ案デアリマスカラトウカ此案ハ諸君モ御賛成下サツテ讀會ヲ省
略シテ御可決アランコトヲ希望致シマス
- 子爵曾我祐準君 讀會省略ニ賛成
○小原重哉君 贊成
○子爵平松時厚君 贊成
○子爵本莊壽亘君 贊成
○子爵千種有梁君 贊成
○男子爵南岩倉具威君 贊成
〔其他賛成ト呼フ者多シ〕
- 議長(公爵近衛篤脣君) 二分ノ一以上ト認メマス讀會省略ニナリマシタ
〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕
- 明治三十年法律第十一號種牡馬検査法中左ノ通改正ス
- 第一條中「此ノ法律ニ依リ」ノ下「每年」ノ二字ヲ加フ
第三條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ
但地方ノ状況ニ依リ此ノ年限ニ依ラサルコトヲ得
- 第八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第九條 北海道廳長官府縣知事ノ具狀ニ因リ農商務大臣ハ當分ノ内島
嶼ニリ此ノ法律ヲ施行セサルコトヲ得
第九條以下順次繰下ク
- 議長(公爵近衛篤脣君) 本案御異議ナクバ原案ニ決シマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵近衛篤脣君) 本日ノ議事ハ是ニテ終リマス、次ノ日程ハマダ少
シ定メカネマスルカラ追シテ御報道致シマス本日ハ散會
- 午後一時三十二一分散會